

第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成17年7月5日(水) 2校時
対 象 2組(男17名 女15名 計32名)
指導者 福島 恵美子

1 主題名

しんせつになったおおかみ 【思いやり・親切2-(2)】

2 資料名

はしのうえの おおかみ (出典:学研「みんなのどうとく」1年 岩手県版)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

本主題は、第1学年及び第2学年の「主として他の人とのかかわりに関すること」の(2)「身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。」をねらいとしている。

よい人間関係を築くには、さらに、相手に対する思いやりが不可欠である。それは、具体的には温かく接することや、相手の立場に立った励ましや援助などを含む親切な行為とならなければならない。

低学年においては、特に身近にいる幼い人や高齢者に目を向け、だれに対しても温かい心で接し親切にすることの大切さを指導する必要がある。

(2) 児童について

学校生活にもなれ、学級の友達だけではなく、学年、他学年の子供達と一緒に遊んだり、下校したりする姿が見うけられるようになってきた。友達同士のかかわりの中では、自分がやりたいことを通そうとしたり、「気に入らないから」「嫌だから」という理由だけで、一緒に遊ばなかったり、けんかになったりすることもある。しかし中には、友達が困っていると、なんとかしようとする行為も見られるようになってきた。

友達との関わりが少しずつ出てくるこの時期に、温かい心で接した行為は、親切にした人だけではなく、された人にも清々しいいい気持ちになるということに気づかせていきたい。

(3) 資料について

一本橋を自分が先に渡りたいばかりに、うさぎに意地悪をして、もどしてしまう。その行為がおもしろくなり、自分よりも弱い動物に「もどれ、もどれ。」といばりおいかえしてしまう。そんなある日、自分よりも大きくて、強そうなくまと一本橋で出会う。こわくなったおおかみは、道を譲ろうとするが、くまは、おおかみをやさしく抱き上げ反対側におろしてくれた。くまのやさしい行為にうれしくなったおおかみは、次の日から、くまにやってもらったように、自分より弱い動物たちを抱き上げ、通してあげるようになった。

意地悪だったおおかみの心の変化が良く表されている資料である。大きなくまとの関わりを通しておおかみが思いやりのある温かい態度の素晴らしさを学び、成長していく姿を捉えさせ思いやりのある態度は、自分にとっても快いことに気づかせるのに適した資料である。

(4) 指導にあたって

資料提示の工夫として、気持ちを考えさせる場面ごとに挿絵を紙芝居形式にし、場面ごとに読みながら提示をしていくことで、場面の状況を子供達にしっかりつかませたい。

おおかみの気持ちに共感させるため、ペープサートを使った役割演技を取り入れたい。役割演技については、経験が少ないので、教師と一緒に思い考えを深めていきたい。

広める・まとめる段階では、こころのノートの活用を通して、児童自身の経験を紹介したり、資料作文の紹介をしたりしながら、価値を深めさせていきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

意地悪やわがまをしないで、身近にいる弱い人に親切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される 発言や心の動き	指導・援助の 留意点
気づく 5分	<p>1 「森のくまさん」の歌を歌いながらお話の雰囲気作りをする。 みんなで歌を歌って森の中に行こう。 「森のくまさん」をみんなで歌う</p> <p>2 登場人物を確認し、学習のねらいを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>おおかみの気持ちを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おおかみ、うさぎ、たぬき、きつね、くまが出るお話だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に、輪唱しながら歌い「森の中」の雰囲気を味わわせる。 ・絵を見せながら登場人物の紹介をし、おおかみの気持ちについて考えることを確認する。
見 つ め る	<p>3 場面ごとに資料を読み、おおかみの気持ちを中心に話し合う。</p> <p>(1) 一本橋の上で、動物たちを通せんぼするおおかみの気持ちについて話し合う。 「もどれ、もどれ。」といったとき、おおかみは、どんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うさぎやたぬき、きつねは、そんなおおかみをどのように思ったでしょう。 <p>(2) 一本橋でくまに会い、道を譲ろうとしたときのおおかみの気持ちについて話し合う。 くまに出会ったおおかみは、どんな気持ちになりましたか。</p> <p>(3) くまに抱きかかえられ、反対側におろされたときのおおかみの気持ちについて話し合う。 くまにだきかかえられ、おろされたとき、おおかみはどんな気持ちになりましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おれが先にいくんだ。 ・おれは、強いぞ。 ・みんなは、弱いな。 ・みんなが怖がるのが、おもしろくなった。 ・もっとやってやろう。 ・いやなきもちだな。 ・いじわるな、おおかみだな。 ・こわいなあ。 ・おおきくて、怖そうだ。先に渡らせよう。 ・こんどは、おれが負けてしまうぞ。 ・なんだか、怖くなってきた。 ・いじわるは、しないほうがいいな。 ・くまさんはやさしいな。 ・なんだか、うれしいきもちになったぞ。 ・大きくて、怖いと思ったのに。 ・くまさんは、すごいな。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居をみせながら、話し合う場面ごとに資料を読み場面の様子をとらえさせる。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートを使って役割演技をしながら、登場人物の気持ちを考えさせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いままで、強い立場でいばっていたおおかみが、大きなくまに出会うことにより弱い立場になってしまったことをとらえさせながら考えさせる。 ・自分が、弱い立場になったときに、くまにやさしく接してもらった、おおかみの気持ちをとらえさせながら考えさせる。

32分	<p>(4) くまの後ろ姿をいつまでもみているおおかみの気持ちについて話し合う。 くまの後ろ姿をいつまでもみながら、おおかみはどんな気持ちになりましたか。</p> <p>・ どうしておおかみは、いい気持ちになったの。</p>	<p>・ おれは、いじわるだったな。 ・ くまさんみたいにすればいいんだ。 ・ これからは、くまさんみたいにやってみよう。</p> <p>・ どうぶつたちに、やさしくしてあげたから。</p>	<p>・ 自分の行為を反省し、弱い立場の人にもやさしく接しようとする、おおかみの気持ちをとらえさせる。</p> <p>・ 自分がやってあげた親切な行為により、おおかみ自身もいい気持ちになれたことをとらえさせる。</p>
広げる 5分	<p>4 自分より弱い立場の人にやさしくしてあげた経験を聞き合う。 おおかみさんのように、やさしいところで接していた人を紹介しません。</p>	<p>・ 妹が泣いたときに、だっこしてあげた。 ・ 肩もみをしてあげた。 ・ おばあちゃんがご飯を作っていたので、お手伝いをした。 ・ 遠くにいるおばあちゃんに手紙を書いた。</p>	<p>・ 心のノートP37を事前に記入させ、あたたかい心で接した体験を紹介する。</p>
まとめる 3分	<p>5 心のノートP36「小さな親切」の作文を聞く。</p>	<p>・ 自分よりも、小さい子や弱いお年寄りには、やさしい気持ちでしてあげよう。 ・ 自分も何かをしてあげたいな。</p>	<p>・ 心のノートP36「第23回作文コンクール入賞作品『親切のふしぎ』より」を紹介する。</p>

5 板書計画

<p>おおかみがうさぎを抱き上げている絵</p>	<p>くまの後ろ姿の絵</p>	<p>くまがおおかみを抱き上げている絵</p>	<p>くまが立っている絵</p>	<p>うさぎ たぬき きつね</p>	<p>ウサギを通せんぼの絵</p>	<p>たぬき・きつねを通せんぼの絵</p>	<p>はしのうえのおおかみ</p>		
<p>あや たさ たし かい いこ こころ る い い き もち</p>	<p>・・・ いくま いまね きさを もんす ちみれ だたば ないい にい や ろう う</p>	<p>う し ろ す が た を み て</p>	<p>・・・ うくや れまさ しさし いんい きはな もす ちご い</p>	<p>だ き か か え お ろ さ れ る</p>	<p>・・・ さこお きわお にそき わうい ただな らせ よう</p>	<p>ど う ぞ 、 お さ き に</p>	<p>い じ わ る い や だ な</p>	<p>・・・ もおこ おつも われと しがが やろっ さろい てき うい だ る ぞ</p>	<p>だ め だ だ め だ</p>

6 資料分析

資料名 はしのうえのおおかみ

ねらい

意地悪やわがまをしないで、身近にいる弱い人に親切にしようとする心情を育てる。

場面	<p>一本橋の上で動物たちを通せんぼするおおかみ。</p>	<p>一本橋で大きなくまに出会い道を譲ろうとするおおかみ。</p>	<p>くまに抱きかかえられ、反対側におろされるおおかみ。</p>	<p>くまの後ろ姿をいつまでもみているおおかみ。</p>
主人公の心の動きと外的状況	<ul style="list-style-type: none"> ・おれがさきに渡るんだ、もどれもどれ。 ・みんながもどるのがおもしろくなってきたぞ。 ・おれは強いんだぞ。みんなもどれ、もどれ。 <p>わがまま</p> <p>いじわる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくてこわそうなくまだ。道を譲ってやろう。 ・いじわるしたらやられるかもしれない。 ・おれより、強そうだぞ。 <p>警戒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじわるされると思ったのに、やさしいくまさんだな。 ・なんだか、うれしいな。 ・こうすればよかったのか。 <p>うれしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなにいじわるをしてしまった。これからはやさしくしよう ・くまさんは、やさしいな。やさしくされると、うれしい気持ちになるな。 <p>後悔</p> <p>やさしさ</p>
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなこわがっているおもしろいな。 ・もっとやってやろう。 ・なんだか偉くなった気分だぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくて、強そうだぞ。いじわるしないで、先に渡らせよう。 ・どうしよう、いじわるしたら、何かされるかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こわいくまさんだとおもったのに。 ・こうすれば、とおせんぼしなくてもいいのが。 ・くまさんは、すごいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分はいじわるだったな。 ・くまさんみたいにやってみよう。 ・くまさんは、やさしいな。
発問	<p>「もどれ、もどれ」といったとき、おおかみはどんな気持ちでしたか。</p>	<p>くまに出会ったおおかみは、どんな気持ちになりましたか。</p>	<p>くまに抱き上げられたとき、おおかみはどんな気持ちになりましたか。</p>	<p>くまの後ろ姿をいつまでもみながら、おおかみはどんな気持ちになりましたか</p>